

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）設置（~~使用、変更~~）届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

長崎県知事 殿

届出者 住 所 長崎市尾上町3-1

氏名（名称） 株式会社長崎県民生活環境部

代表者氏名 長崎 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）~~の規定により、
特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△1-2-3	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類の	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 66 電気めっき施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類の			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（~~使用、変更~~）届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

長崎県知事 殿

届出者 住 所 長崎市尾上町3-1

氏名（名称） 株式会社長崎県民生活環境部

代表者氏名 長崎 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（~~第6条第1項又は第2項、第7条~~）の規定により、
~~特定施設~~（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市△△1-2-3	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類		※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る。）	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型式	浸漬式 (△△△社製 CM-5)	全自動バレル回転式 (△△△社製 ZB-A1)
構造	鉄製、内部を塩化ビニールライニング（構造図は資料〇のとおり）	鉄製、内部を塩化ビニールライニング（構造図は資料〇のとおり）
主要寸法	槽寸法 酸浸槽1m×1m×1.5m×1槽	装置全体で 1m×10m×1.5m (各槽の寸法は資料〇のとおり)
能力	ねじ 3,000個/日	ねじ 5,000個/日
配置	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料〇のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	床面は厚さ100mmのコンクリート 周囲には側溝を設け、流出を防止	有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。 防液堤等については、その容量を記入すること。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
設備	地上配管、排水溝、ためます	排水溝
構造	配管 ステンレス製 排水溝、ためます コンクリート製、厚さ50mm	コンクリート製、厚さ50mm
主要寸法	配管 直径100mm×30m 排水溝 幅300mm×深さ200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm	幅300mm×深さ20mm×3m (途中でB-1の排水溝と合流)
配置	めっき工場1階 (配置は資料○のとおり)	めっき工場1階 (配置は資料○のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

- ・配管については、地下配管（トレンチ）、地下配管（埋設）などのケースも考えられる。トレンチの場合はトレンチの構造についても記載すること。
- ・「設備」の欄には、施設に付帯する配管等、排水溝等の設備の名称を記載すること。
- ・「構造」の欄には、設備の材質を記載するとともに、検知設備を有する場合にはその旨記載すること。
- ・「主要寸法」の欄については、設備のうち、主なものについて寸法を記載すること。
- ・「配置」の欄については、建物の名称・位置等を記載するとともに、地下に設置されている場合にはその旨を明記すること。
- ・有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないため、その他参考となるべき事項の欄にその旨記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2			
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設			
設置場所	めっき工場棟1階 (配置は、資料○のとおり)	めっき工場棟1階 (配置は、資料○のとおり)			
操業の系統	○○処理を行う ※原料から製品までの製造工程のフローシートを添付し、工程における特定施設を他の施設と区分する。	▲▲めっきを行う			
使用時間間隔	週に2～3日程度使用し、使用時間帯は不規則	10時～16時			
1日当たりの使用時間	4時間	6時間			
使用の季節的変動	なし	6月中旬～7月中旬 100%稼働 12月中旬～1月中旬 30%稼働 その他 70%稼働			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	<前処理行程> ○○ <表面処理> フッ酸 2kg/日	<前処理行程> ○○ <めっき行程> カドミウム 0.1kg/日			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	2.5~4.0	2.0~4.0	3.0~5.0	2.5~5.0
	BOD(mg/L)	15	20	10	20
	SS(mg/L)	40	50	35	40
	ふっ素(mg/L)	20	25	—	—
汚染状態	—	—	5	8	
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	通常	最大	通常	最大
	20	30	25	30	
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		F-1 (工場排水処理施設)				F-2 (生活排水処理施設)			
処理施設の設置場所		別添図○のとおり				別添図○のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇年〇〇月〇〇日			
工事完成予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇年〇〇月〇〇日			
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日				〇〇年〇〇月〇〇日			
種類及び型式		〇〇社製 (型番: △△-△△△)				合併処理浄化槽 (50人槽)			
構造		鋼鉄製 (一部コンクリート製)				コンクリート製			
主要寸法		別添図△のとおり				別添図△のとおり			
能力		70 m ³ /日				15 m ³ /日			
処理の方式		凝集沈殿・中和処理方式				接触ばっ気			
処理の系統		別添図●のとおり				別添図●のとおり			
集水及び導水の方法		別添図▲のとおり				別添図▲のとおり			
使用時間間隔		8時~20時				24時間連続			
1日当たりの使用時間		12時間				24時間			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		水酸化ナトリウム 6kg/日 PAC 10kg/日				次亜塩素酸カルシウム 0.3kg/日			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	2.5~5.0	6.0~8.0	2.0~5.0	6.0~8.0	5.0~9.0	6.0~8.0	5.0~9.0	6.0~8.0
	BOD(mg/L)	15	10	20	15	200	20	200	20
	SS(mg/L)	40	10	50	15	100	20	100	20
	ふっ素(mg/L)	20	5	25	5	—	—	—	—
	カドミウム(mg/L)	5	0.05	8	0.08	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm ³)	—	—	—	—	10 ⁶	<3,000	10 ⁷	<3,000	
	量 (m ³ /日)	45	45	60	60	8	10	8	10
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥1.5t/月 業者に処分委託 (処分委託先: 〇〇産業株)				汚泥0.2t/月 業者に処分委託 (処分委託先: 〇〇清掃株)			
排出水の排出方法		排出口の数: 1 排出口の位置及び排出先 →別添図◇のとおり				排出口の数: 1 排出口の位置及び排出先 →別添図◇のとおり			
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場・事業場における施設番号		排出口 1		排出口 2	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0	6.0~8.0
	BOD(mg/L)	10	15	20	20
	SS(mg/L)	10	15	20	20
	ふっ素(mg/L)	5	5	—	—
	カルシウム(mg/L)	0.05	0.08	—	—
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	—	<3,000	<3,000
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		48	63	8	10
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

	業種その他の区分	汚染状態 (mg/l)		水量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Q ₀	Q _i	Q _j	通常	最大	
特定排水水											
合計											
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合計										
その他参考となるべき事項											

- 備考 1 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、化学的酸素要求量について記載すること。
 2 ※印の欄には記載しないこと。

排水に係る用水及び排水の系統

